令和6年度

COMPASS 発達支援センター松山

事業所における自己評価結果（公表）

対象日：令和6年10月1日
公表日：令和7年2月22日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練定員スケールの効率で適切であるか	○		法令の基準以上の面積を有し、個々個人が特性や課題に応じてフロアや個室等、安心しながらゆったり支援に取り組むことが出来ております。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		法令の基準以上の配置数で対応し、有資格者も配置させていただいております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーや情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		室内、トイレはバリアフリーとなっており、誰いの特徴にも対応ができるようになっております。 スロープが滑材であり、少し段差があるため、足運び等を観察する機会は、声かけ、見守りを実施しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、足運びや衛生面に配慮された空間となっている	○		定期的に清掃・換気を徹底しており、毎日の清掃や汚れた場所の清掃を実施しております。	
	5	必要に応じて、定員が50万超の場合の場所を使用することが認められる環境になっている	○		フロアや個室、和室を定員や定員の活動内容に応じて空間を使い分けて最適な環境づくりに努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月１回のリフレクションと会議を通じ、職員が有効な、不有効と、中分後の目標について討議しております。 シフト制のため全員が会議に参加することは難しいですが、会議後に議事録を作成し、職員会議で共有をすることに努めております。	
	7	保護者等から評価を活用する などにより子ども・家族を支援し、事業所運営の質の向上を図り、業務改善につなげているか	○		定期的に保護者様にアンケートをおこなっております。 また送迎時や点会などにおいていただく時の会話からご意見等をいただいた場合に、一向を把握し改善で図ったり、改善を図るようにしております。	
	8	職員の意見等を反映する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		月１回の会議を通じたり、意見を思う事を話合うことで問題点の把握、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価につきましては今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を行うために、その研修内容を明確にするとともに、研修機会を確保している	○		年度初めに研修研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。 定期的な研修の機会で職員の意識の向上できるように努めております。	
	11	適切な支援プログラムが作成されているか	○		支援プログラムを作成し、令和７年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和７年度に向けた公表準備をしております。
適切な支援の提供	12	個々の状態に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者間でニーズの調整を複雑に ためらえた、児童発達支援計画を作成しているか	○		個々の状態に対し、保護者様とアセスメントをおこない、その際に児童と保護者様のニーズを聞き取り、支援計画に対しては、その児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者が作成し、児童ごと毎に関係者が参加する会議（ケア会議）で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		児童発達支援管理責任者やこの職員で話し合う場を設け、職員共通理解のもとで児童の最善の利益につながるように努めております。	
	14	児童発達支援計画の職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画を作成後、職員会議で職員できるように努力し、計画に基づいた支援を心がけております。	
	15	児童の面接評価の評価や、標準的なアセスメント用、ICF（ICF：国際生活機能分類）や生活面（ICF：国際生活機能分類）、ICF（ICF：国際生活機能分類）、ICF（ICF：国際生活機能分類）、ICF